

## News Letter

vol.11  
2018. 3月号

毎月発行

## 今月のよっしー

早いものであっという間に年度末。本当に多くの皆様にお世話になりました。  
おかげさまでたくさんの学生が地域医療に触れて、キャリアの一つとして考えてくれるようになりました。時間や距離や様々な障壁を乗り越えながら、自分たちが掲げる目標と未来に向かって前に進んで行きたいと思います。  
今月号も元気の出る内容がたくさんあります。  
来年度もよろしくお願い申し上げます！



教授 吉村 学

## 連載企画

## 臨床実習病院・診療所紹介「百瀬病院」

医療法人文誠会 百瀬病院 理事長 百瀬文教 先生

百瀬病院は、日南市南郷町にある80床のケアミックス（一般病棟と医療療養病棟）病院です。南郷町は人口が少なく高齢者の多い小さな町です。でも患者さんは、一般内科や外傷、骨折、尿路感染、重症肺炎や悪性腫瘍終末期など、内科外科に問わず整形外科・泌尿器科など様々な方が来入院されます。小さな民間病院ですが、スタッフ力を合わせて地域医療に頑張っています。

近年は学生さんが来られても、諸事情により外来での研修時間がなくなり病棟での研修が中心となっています。機会があれば実習時に、大学では伝わらな



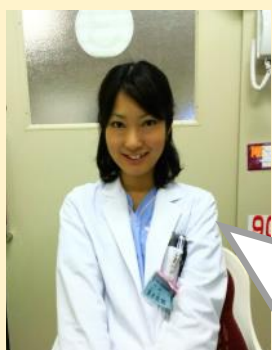
い地域の医療事情について私が知っていることをお話しできればと思っています。また、短い時間ですが当院での実習が、学生時代の思い出の一つとなることが出来ればうれしく思います。

医学部学生さんは医師になることがゴールではありません。医師になった時がスタートだと思います。医師になったらゴールは無く、毎日が勉強となります。期待感と不安感を持ってこれからスタートに向かって頑張ってください。

病院近くの南郷「港の駅」は昼食時間がお勧めです。お近くにおいでの際は、どうぞご利用ください。



## 講座スタッフ紹介③



専攻医 黒木 美穂

高千穂町国民健康保険病院の内科で勤務しています黒木美穂です。私は自治医大の義務年限中で結婚協定によって夫の出身地の宮崎県に2016年度からやってきました。次年度で高千穂3年目になります。2017年度途中から家庭医療専攻医として講座にお世話になっています。串間病院からも大学からも距離的にかなり離れていますが、webを通して一緒に勉強させていただいています。プログラムを通して学ぶことが、今まで自分が行ってきた医療を支持するものであったり、発展させるものであったり、新たな気づきになることも多々あります。目標への壁は高いですが、地理的距離は離れていても、目指すところは同じという精神で頑張りたいと思います。



## 平成29年度地域医療実習報告会を開催しました。

3月2日（金）、地域医療実習受け入れ先の医療機関関係者の方々をお呼びして、平成29年度地域医療実習報告会を行いました。ちょうど地域医療実習を終えた4・5年生も10人弱参加してくれました。

お互いの懇親を深めるとともに、先日行った医学生の地域医療実習に関するアンケートの報告、今年度の実習全体のふりかえり動画（地域医療に”風が吹いている”）、医学生からコメント、受け入れ先の皆さま全員からコメントをいただきました。感謝の握手に、一部熱いハグもありました。

アンケートやいただいたコメントを、次年度のより良い実習の参考にしていきたいと思います。どの医療機関の皆様も今年度5年生が大変お世話になりました。ありがとうございました！



## 第2回宮崎県総合診療フォーラムを開催しました。

2月16日（金）、第2回宮崎県総合診療フォーラムを開催しました。今回は「オール宮崎で総合診療医を養成するには」というテーマでした。

第1部の講演では、東京医療センターの尾藤誠司先生に「だれが中心でもない医療のかたち：プライマリ・ケアにおけるイノベーション」というお話を伺いました。

第2部は宮崎県内4か所の総合診療専門医研修プログラムの基幹病院である県立宮崎病院の荒武先生、古賀総合病院の松浦先生、宮崎生協病院の中島先生、本講座からは梶田先生からそれぞれのプログラムの説明や総合診療についての説明をいただきました。

交流会では、参加した医学生ふくめ全員がコメントをして、今後のオール宮崎としての結束が強くなったように思いました。今後も年1回のフォーラムを、専攻医募集の時期に合わせて行っていきたいです。



▲尾藤誠司先生(上)と第2部の様子(下)

## Meet the Dr. Meg !

3月9日（金）、オレゴン健康科学大学（OHSU）家庭医療学講座准教授Meg Hayes先生に、宮崎県南部の串間市民病院・にちなんファミリークリニック・宮崎県立日南病院を訪問していただきました。

串間市民病院では研修中の専攻医2名から病院の案内の後、訪問診療同行。にちなんファミリークリニックでは院長のトビー先生より院内の紹介や日米の家庭医療クリニックの違いについてのディスカッション。県立日南病院では教育回診とレクチャー“Hypertension in pregnancy”。教育回診ではがん患者の社会的サポートや尿路感染で入院中の高齢者の退院後フォローをどうするかなど、家庭医療的な視点も含めてディスカッションを行いました。翌日は、FMI G宮崎の学生たちとの交流会。学生からは活発な質問があり、メグ先生からは国が違って同じ課題に直面していることなどの説明がありました。家庭医の人々は仲間との関係性もよく、オレゴンと宮崎と離れてはいるもののこうやって交流することができているのはとても嬉しいことです。若い人たちを支援することも大事であり、FMI G活動の支援の重要性も感じました。

メグ先生、2日間に亘る交流会、ありがとうございました！



▲メグ先生(右から2番目)

▼FMI Gの学生たちとの交流



### 講座のイベント情報

#### ●質的研究に関する特別講演会

講師：名古屋大学 教授 大谷 尚先生

3/24(土) 9:00～11:00 場所：宮崎大学医学部

#### ●西都・多職種学生ごちゃまぜプロジェクト2

4/7(土) 11:00～18:00 場所：西都市調殿地区

#### ●総合診療スプリングセミナー in Miyazaki

4/14(土) 13:30～17:30 場所：若草HUTTE

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

